

## グアテマラ緊急キャンペーン 最終報告 2020年10月12日

障害者を支援する団体 ADISA を支援するために始めたグアテマラ緊急支援キャンペーンは9月末で終了となりました。10月初めの入金も含めて、最終的に855,100円が集まりました。みなさまのご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

8月に3500ドル、9月に2000ドル、計5500ドル(583,000円相当)をすでに送金済みでしたので、残金は272,100円となりました。これにレコムから45900円拠出して3000ドルになるようにし、これを10月6日にADISAに送金しました。この最後の送金3000ドルは、石鹸や消毒薬、歯磨き粉などを配る予定だということです。食料は、数ヶ月分まかなえるだけの寄付が他からあったということで、その次に必要で要望の多いものを支援することになりました。

これもちまして、キャンペーンは終了しますが、今後年末までに寄付があった場合は、追加でADISAに送金いたします。

皆さまのおかげで、障害を持つ子どもたちとその家族(194家族、1,032人)を支援することができました。本当にありがとうございました。

レコム運営委員会一同

ADISAからは前回以降の報告とお礼がきています。以下はその要約です。

\*\*\* ADISA より

新型コロナウイルスの状況は、10月6日時点で、累計94,182人が感染し、亡くなったのは3,302人で、死亡率は3.5%です。9月にはジャマティ大統領も感染しました。ADISAのあるサンティアゴ・アティランは引き続きコロナ赤信号です。夜間の外出禁止の解除など、規制が徐々に緩和されていますが、多人数の集まりは依然として禁止です。

規制の緩和により、必要なコロナ対策をとりながら、ADISAのオフィスでのセラピーやミーティングなども行えるようになっていきます。毎週金曜日にはスタッフがミーティングを行い、状況の確認をします。必要な装備をし、待合室では人と人の距離を取るように床にマークをつけています。検温も行い、殺菌ジェルを用意して頻繁に手の消毒をします。また、靴の裏も消毒しています。各部屋の広さに応じて一度に入室する人数を設定しています。部屋は1日二回消毒しています。ADISAの入り口に手洗いとトイレを設置しました。建物内のセクションごとにもトイレを設置しました。ゴミは赤い袋に封をして毎週金曜日に保健所に持って行き、そこで焼却します。

障害を持つ子どものうち特に必要のある子どもで、訪問できる環境(屋外でセラピーができる、室内でも換気が十分にできる)があれば家庭訪問も再開しました。家庭訪問をまだ望まない家族は、それを尊重し、電話やSNSで状況の確認をし、必要なアドバイスをを行います。また、就学期の子どもには学習ドリルなどの教材も届けます。

レコムよりの2回目送金で、予定通り食料(主食のトウモロコシ、豆、コメ、砂糖)を9月 29 日と 30 日に 194 家族に配ることができました。

日本からのご支援、心より感謝いたします。このコロナ禍でとても困っている障害者の家族への食料支援を行えたのはみなさまのご厚意のおかげです。本当にありがとうございました。

\* \* \*

ADISA の敷地に入る前にテーブルにおいた消毒ジェルで手を消毒してもらいます。



アクリル板を付けた受付



距離を取るために床に印をつけました



食料支援を受け取った ADISA 参加者



